

IOTでめざす、理想のエネルギーマネジメント

無線センサーネットワーク

電力会社や関連会社に朗報! 無線遠隔監視&省配線化を実現

取引用計器から一定使用量ごとに出力されるサービスパルスをCT(カレントトランス)経由で検出し、カウントした積算値を無線送信。
電池駆動に対応し、電柱(1号電柱)など電源が確保できない場所でも稼働できます。

1 取引用計器に接続

50,000P/kWh

サービスパルスに対応



2 無線遠隔監視を実現

920MHz

「マルチポップ無線センサーネットワーク」に接続し、遠隔監視が可能



3 電源のない電柱に設置

5年間電池駆動

電源確保が困難な1号電柱にもパルスカウンターノードを設置可能



無線センサーネットワークモジュール **WSW-42KC**
パルスカウンターノード

取引用計器
(50,000p/kWh)



専用分割CTで計測

[無線センサーネットワークのシステム構成例]

パルスカウンターノード
50,000p/kWh対応

パルス計測

パルスカウンターノード



920MHz帯
特定小電力無線

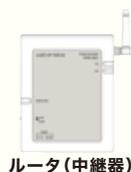


電池駆動!!

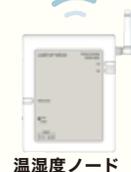
ベース(親機)



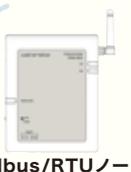
- RS-232C
- LAN
- USB



ルータ(中継器)



温湿度ノード



Modbus/RTUノード

取引用計器から出力されるサービスパルスを無線送信可能!!

パルスカウンターノードとRS-232Cベースとの間を920MHz帯の特定小電力無線により交信。
温湿度ノードやModbus/RTUノードなどを組み合わせることで、各種ユーティリティ監視も実現できます。